

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	びゅん長久手			
○保護者評価実施期間	2025年11月		～	2026年1月
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	6
○従業者評価実施期間	2025年11月		～	2026年1月
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	必要に応じて、利用者さんが個別の部屋や場所を使用することができる	利用者さんの特性や必要に応じて、個別のお部屋や場所を確保している。 必要に応じて利用者さん同士の動線が重ならないようにするなど配慮を行っている。	活動室内だけでなく、地域のなかで安心して過ごすことができる配慮をおこなっていく必要がある。
2	利用者さんの支援に関わる職員同士のコミュニケーション・連携が出来ている	定期的なミーティングで日々の支援の振り返りや新しい支援の提案などについて話し合いをおこなっている。 利用ごとに支援計画シートを作成し、統一した関わりができるように準備している。	新たな利用ニーズに応えられるよう、支援者を増やしていく必要がある
3	利用者さんの特性に応じた支援ツールを作成し、個々に適したコミュニケーション手段を活用している。	特性のアセスメントに加え、日々の行動観察をおこない、利用者さんにとって分かりやすい関わりができるよう取り組んでいる。	獲得したコミュニケーション手段をつかって、外に向かって活動を広げていく機会を作る必要がある。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の活動に参加ができていない。地域の方との交流機会をもつことができていない。	活動室内での支援方法を広げることができていない。	地域のイベントや公園など、外に出る機会をつくる。 利用者さんのことを知っていただく機会をつくる。
2	身体を思いっきり動かす活動が少ない	安心して身体を動かすことができるスペースや人員が不足していることがある	多様な人材の確保 安心して活動できる場所の確保
3	保護者同士の交流機会を設けることができていない	交流できるイベントの企画ができていない	ニーズを確認し、イベントを企画する